

# 中央大学 2026 年度一般選抜

## 【出題の意図】

試験日	2026 年 2 月 11 日
学部・試験方式	商学部 A
科目	国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

第一問は、現代文の論理的文章についての問題です。三浦雅士『孤独の発明 または言語の政治学』の一節を題材としました。コミュニケーションの道具として考えられがちな言語が、実は、孤独を産み、そして、その孤独は他者との関係性の中でしか成立しえないことを論じたものです。抽象度の高い文章をいかに具体的な事案に引き寄せて解釈できるかを狙いとしています。漢字の読み書きの基本的な知識を問う問題も設けました。

第二問は、現代文の論理的文章についての問題です。岡田暁生『音楽の聴き方』の一節を題材としました。趣味・嗜好の問題とされる音楽という分野において、聴取者それぞれの「相性」の形成過程と、その「相性」によるずれ違いを、文脈から正確に把握する読解力を問う問題です。ピエール・バイヤールの議論を援用しつつ展開されるため、使用される独自の概念を理解する力と挙げられる具体例の適切な読み取りが求められます。

第三問は、古文についての問題です。江戸時代の擬古文による翻案小説である『梅がえ物語』を題材としました。古文の基礎的な語彙・文法の理解をふまえ、人物関係を含めた主人公をとりまく状況を的確に把握し、登場人物の発言の意図と心理とを、主として和歌に基づく表現から理解できたかどうかを問いました。